

	達成指標	基準値	目標値	戦略年度					コロナによる影響	主要な要因
				2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)		
重要目標	1 住み続けたいと思う市民の割合（定住意向）	79.7%	85.0%	79.4%						・若者の転出超過数に歯止めがかからず人口社会増減率も悪化した。
	2 人口社会増減率（純減数/期首人口）	△0.49%	△0.33%	△0.66%						
	3 若者（15歳～39歳）の転出超過数（転入者数－転出者数）	△1,101人（H27～R1）	△528人（R2～R6）	△266人						
	4 健康寿命	男性 76.94歳 女性 81.48歳	77.50歳 82.00歳	確定前 確定前						
	評価指標	基準値	目標値	戦略年度					コロナによる影響	主要な要因
				2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)		
基本戦略Ⅰ（住みたい街） 重要業績	基本目標1 若者・女性のふるさと氷見での定着と還流（Uターン）									・新型コロナウイルス感染症の影響により、事業や行事が実施できなかったり参加ができなかったりしたため、目標を達成できなかった項目が多い。  ・市のホームページリニューアルに加え、新型コロナウイルスをきっかけに移住への関心が高まったことにより、「市ホームページ及びIJU応援センターホームページのアクセス件数」が伸びたと考えられる。  ・情報発信のチャンネルを増やしたことにより、「SNS市公式アカウントフォロワー数」が上昇した。  ・中国浙江省寧海県及び台湾高雄市鼓山区と友好交流都市協定の締結により、リモートによる講義などの実施を行ったことで「海外の友好都市との交流した人数」が増加した。  ・班回覧、広報ひみ、ホームページでの周知を実施し、新型コロナウイルス感染症ワクチンの接種情報を発信したことで「SNSを活用した情報伝達システムの利用者数」が増加したと考えられる。
	i 地方創生を支える人材・組織の育成									
	① ぶり奨学プログラム登録者のうちのUターン者数	7人	36人/年間	7人						
	② 親子地域産業体験に参加した人数	20人	120人	0人					↓	
	③ おらっチャ創生支援事業の取り組み件数	10件	20件/年間	10件					↓	
	ii 若者・女性の定着・Uターン支援									
	① おらっチャ創生支援事業のうち「価値提供型事業」に取り組んだ件数	6件	14件/年間	5件					↓	
	② 20代・30代の女性のUターン者数	70人	80人/年間	71人						
	iii ふるさと氷見への郷土愛の育成									
	① 氷見が好きだと感じている市民の割合	82.6%	85.0%	83.4%						
	② 地域の行事に参加している児童・生徒の割合	小学生 74.2% 中学生 70.2%	80.0%	72.4% 65.3%					↓ ↓	
	基本目標2 「里山、里海での生活が同時にかなうまち氷見」への移住・定住（IJターン）と多様な交流の実現									
	i 氷見暮らしの魅力や充実した子育て・教育・福祉等の情報発信									
	① 市ホームページ及びIJU応援センターホームページのアクセス件数	173万件	190万件/年間	227万件					↑	
	② SNS市公式アカウントフォロワー数	1,550人	3,000人/年間	4,328人						
	ii 子育て世帯、起業人材、クリエイティブ人材などの移住・定住支援									
	① IJU応援センターを通して移住した人数	25人	40人/年間	16人					↓	
	iii 多様な関係人口の創出・拡大									
	① 氷見きときファンクラブ会員数	—	2,500人	327人					↓	
	iv スポーツ・芸術・文化等を通じた交流人口の拡大									
	① 主要なスポーツイベント参加者数	27,291人	27,400人/年間	4,876人					↓	
	② 新文化交流施設のイベント参加者数	—	64,000人/年間	—						
	V 国際交流の推進									
	① 海外の友好都市との交流した人数	27人	100人/年間	204人					↓	
	基本目標3 安全で安心して暮らせる基盤の充実									
	i 災害に強い社会の実現									
① 防災士の資格を持つ人数	79人	204人	104人					↓		
② SNSを活用した情報伝達システムの利用者数	0人	3,000人	1,645人					↑		
③ 急傾斜地崩壊防止対策（県・市）の実施箇所数	159箇所	162箇所	159箇所							
④ 防災重点ため池の改修（県）実施箇所数	6箇所	14箇所	11箇所							
⑤ 河川浚渫（県・市）実施箇所数	6箇所	48箇所	20箇所							
ii 地域医療の充実										
① 市内の医療機関の数	51医療機関	51医療機関	49医療機関							
② 救急覚知から現場到着までに要する時間	8.6分	7.0分	8.3分							
iii 地域包括ケアシステムの推進										
① 福祉相談窓口の開設地区数	9地区	21地区	12地区							
iv 安全で安心な日常生活が送れるまちの実現										
① 鳥獣による人身及び物損被害の発生件数	4件	0件/年間	0件							
② 防犯カメラの設置補助件数	0件	25件	8件							

評価指標	基準値	目標値	戦略年度					コロナによる影響	主要な要因
			2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)		
基本目標4 持続可能な地域社会の体制・仕組みの確立									
i 小規模多機能自治の基盤整備と地域内分権の推進									
①地域づくり協議会の設置数	7地区	21地区	8地区					<p>・持続可能な地域づくりを行っていくという地域住民の当事者意識の醸成と地域を運営していくための資金及び人材の確保の必要性について地域に十分納得がいただけていないため、「地域づくり協議会の設置数」が伸び悩んでいる。</p> <p>・体操の効果について地域の関心が高く年々通いの場が増加していたが、R2年度はコロナの影響で立ち上げ箇所数の伸びが鈍化したり、活動を休止したところもあり、「住民主体の通いの場の実施箇所数」が伸び悩んでいる。</p>	
ii 多様性を認め合える社会づくり									
①平等と多様性が尊重されていると思う市民の割合	40.5%	60.0%	45.4%						
iii 交通弱者の移動手段の確保									
①市内のどこかへ行きたいときに、利用できる移動手段があると思う市民の割合	85.0%	90.0%	87.7%						
iv Society 5.0の実現に向けた技術の活用									
①Society 5.0の実現に向けた技術を活用した取組件数	0件	4件	1件						
基本目標5 いきいきと暮らし続けるための健康的自立									
i 市民の健康意識の醸成									
①特定健診の受診率	46.0%	60.0%	確定前						
ii 良い生活習慣の定着による健康増進プログラムの推進									
①メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合	34.8%	32.7%	確定前						
iii 地域づくりによる介護予防対策									
①住民主体の通いの場の実施箇所数	80箇所	140箇所	94箇所						



基本戦略Ⅰ（住みたい街）  
重要業績

第2期氷見市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗について

	達成指標	基準値	目標値	戦略年度					コロナによる影響	総括	
				2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)			
重要目標	1 納税義務者1人当たり所得	260万円	270万円	266万円						・納税義務者一人当たり所得が上昇したのは、税制改正による上昇と考えられる。 ・新型コロナウイルスの関係で、雇用や観光消費額が伸び悩んだと考えられる。	
	2 雇用保険適用事業所の被保険者数	8,833人	9,000人	8,558人							
	3 新規求人数	総数	4,922人	5,000人	3,209人						
		フルタイムのみ	2,577人	2,600人	1,611人						
4 観光消費額	168億円	186億円	110億円								
基本戦略Ⅱ（働きたい街） 重要業績	評価指標	基準値	目標値	戦略年度					コロナによる影響	総括	
	基本目標1 氷見市内での経済活動の規模拡大				2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)			2024(R6)
	i 地域内消費の促進										・新型コロナウイルス感染症対策として、「飲食等利用キャンペーン」や「高校生在学世帯等臨時特別応援事業」などの事業で需要が高まったことから、地域内商品券の販売額が上昇した。  ・「氷見牛の飼育頭数」については、畜産農家の廃業があったことにより減少した。  ・中心市街地への出店件数や創業件数については、市の補助制度を活用した件数のみのカウントとなっているが、実際には市の補助を利用せずに出店ないし創業を行った方もおられる。  ・ビジネスサポートセンターの相談件数については、目標値を達成していないが、6月に開業し9ヶ月間という期間を踏まえると十分な効果があったと考えられる。
	①地域内商品券販売額	4,000万円	5,000万円／年間	7,237万円							
	②日頃から氷見市の産品を積極的に買っている市民の割合	56.6%	60.0%	61.5%							
	ii まちなかの賑わいの創出										
	①中心市街地への出店件数	3件	33件	4件							
	iii 創業（事業承継）の支援										
	①創業件数（事業承継も含む）	10件	70件	7件							
	iv 既存企業の競争力強化										
	①ビジネスサポートセンターの相談件数	0件	1,000件／年間	850件							
	基本目標2 氷見ならではの魅力・強みを生かした観光振興										
	i 地域資源を活かした滞在型観光の推進										
	①観光入込客数	217万人	240万人／年間	127万人							
	②平均滞在時間	3時間21分	3時間48分	2時間59分							
	ii インバウンドの誘致										
	①外国人宿泊客数	7,017人	15,000人／年間	461人							
	基本目標3 氷見の海・里・山の幸の魅力や、特性を活かした産業振興										
	i 新たな食の氷見ブランドの確立										
	①都市部で開催する氷見の食に関するイベントの参加者数	0人	2,200人	0人							
	②自然栽培・有機栽培を行う農業者数	36人	40人	33人							
	ii 既存のブランドの販路拡大										
	①学校給食等での氷見産食材の使用割合	5%	30%	11.6%							
	②氷見牛の飼育頭数	715頭	860頭	673頭							
	③地場産木材の生産量	16,747m <sup>3</sup>	25,000m <sup>3</sup>	12,100m <sup>3</sup>							
	④地域ブランド調査における魅力度の順位	177位	100位	163位							
	iii 第一次産業の6次産業化の推進										
	①6次産業化の取り組みによる新商品開発数	8品	12品	8品							
基本目標4 産業人材の育成・確保											
i 農林水産業・商工業の担い手の育成・確保											
①集落営農組合組織化件数（任意の組合を含む）	42団体	50団体	42団体								
②事業承継件数	1件	6件	1件								
③リカレント教育を受けた女性の数	0人	3,200人	172人								
ii 働きがいを感じることができる魅力的なしごとの創出											
①従業員の仕事と子育ての両立を図るための雇用環境の整備に取り組む企業の数	77社	80社	83社								
②高齢者の就職率	39%	42%	31%								
③障がい者の就業状況	78.2%	80.0%	70.1%								
④外国人の日本語教室への参加者数	94人	95人／年間	65人								
基本目標5 企業誘致の推進											
i 地元雇用につなぐ優良企業や研究機関等の誘致											
①市内へ進出した企業または研究機関等の件数	0件	5件	0件								

第2期氷見市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗について

重要目標	達成指標	基準値	目標値	戦略年度					コロナによる影響	総括
				2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)		
重要目標	1 婚姻数	141件	150件	公表前						出生数の増加があったことから、子ども女性比の改善が図られた。
	2 出生数	189人	230人	206人						
	3 子ども女性比	0.165	0.202	0.169						
重要業績	評価指標	基準値	目標値	戦略年度					コロナによる影響	総括
				2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)		
基本戦略Ⅲ (育てたい街)	基本目標1 結婚の希望をかなえ、子どもを中心として多様な家族が幸せを実感できる生活の実現									・新型コロナウイルス感染症の影響で、積極的な引き合わせは難しい状況ではあったが、おせっかいさんの働きかけ等により「おせっかいさんによる引き合わせ件数」が上昇した。
	i 人生設計を考える機会の増加									
	①将来の夢や目標を持っている中学生の割合	71.1%	72.5%	67.2%						
	②自分の人生設計を持っている高校生の割合	-	75.0%	-						
	ii 出合いの場の創出、地域の応援・支援による婚姻率の向上									
	①おせっかいさんによる引き合わせ件数	22件	40件/年間	41件					↓	
	基本目標2 妊娠・出産に関わる負担の軽減									・特定不妊治療申請件数(R2:34件)は減少したが、令和2年度から一般不妊治療を開始(R2:27件)したことから、「不妊治療に係る助成申請件数」は増加した。
	i 安心して出産できる環境の整備									
	①市内分娩施設数	1施設	1施設	1施設						
	ii 妊娠・出産に関わる経済的・精神的負担の軽減									
	①不妊治療に係る助成申請件数	40件	55件/年間	61件						
	iii 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援の推進									
	①出産前後の相談件数	1,350件	1,500件/年間	1,288件					↓	
	基本目標3 多様な家族に対するきめ細やかな支援、子どもの健やかな成長を育む保育の充実									・「学校が楽しいと思っている児童・生徒の割合」については、昨年度実施した全国学力・学習状況調査の質問項目になかったことから、指標を把握することができなかった。
	i 子育てに関わる経済的・精神的負担の軽減									
	①子育てや教育に不安を感じた時身近に相談できる人がいる市民の割合	76.1%	80.0%	78.2%						
	ii 子どもの生きる力を育成する保育・教育の充実									
	①待機児童数	0人	0人	0人						
	基本目標4 次代を担う子どもを育む学校教育の実現									・「市内保育所・認定こども園の延長保育実施率」が上昇したのは、保育園数の減少したことによる影響である。
	i 教育に関わる経済的負担の軽減									
①ぶり奨学プログラム登録者数	166人	350人	239人							
ii 子どもの生きる力を育成する学校教育の充実										
①学校が楽しいと思っている児童・生徒の割合	小学生	81.7%	90.0%	-						
	中学生	87.0%	90.0%	-						
基本目標5 仕事と家庭を両立しながら、子育てを楽しみと感ぜられる社会の実現									・「子供が安心して遊べる環境であると感じる市民の割合」が上昇したのは、朝日山公園や海浜植物園のリニューアルによる影響があったと考えられる。	
i 子育てと両立するワーク・ライフ・バランス(仕事と私生活の調和)の推進										
①子育てと仕事が両立しやすい環境であると感ぜている市民の割合	58.0%	65.0%	64.2%							
②仕事と子育ての両立ができていると思う市民の割合	69.4%	75.0%	66.4%							
ii 職場と子育て支援施設の連携										
①市内保育所・認定こども園の延長保育実施率	80%	100%	85.71%							
iii 子どもが安心して遊び・学ぶことができる環境の整備										
①子供が安心して遊べる環境であると感じる市民の割合	54.0%	60.0%	69.2%							
②海浜植物園の入園者数	45,000人	65,000人/年間	41,382人					↓		